

## 台東区都市計画マスタープラン（案）の概要

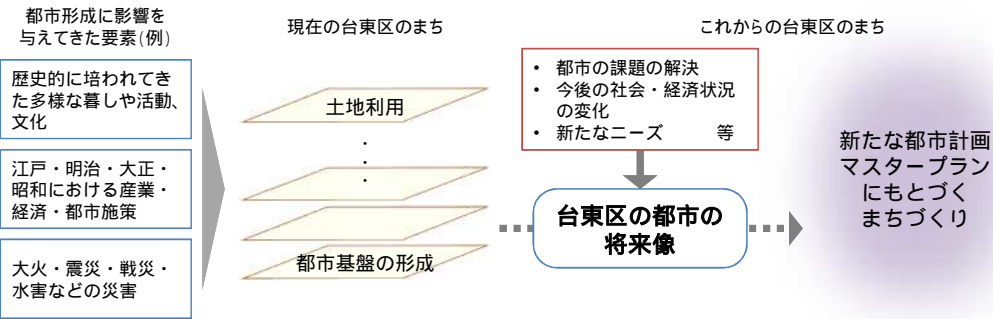
---

- 第1章：都市計画マスタープランとは . . . . . P 1
- 第2章：台東区の現状 . . . . . P 1
- 第3章：都市計画マスタープランの方向性 . . . P 2
- 第4章：分野別まちづくり方針 . . . . . P 4
- 第5章：地域別まちづくり方針 . . . . . P 5
- 第6章：まちづくりの実現に向けて . . . . . P 6

# 第1章 都市計画マスタープランとは

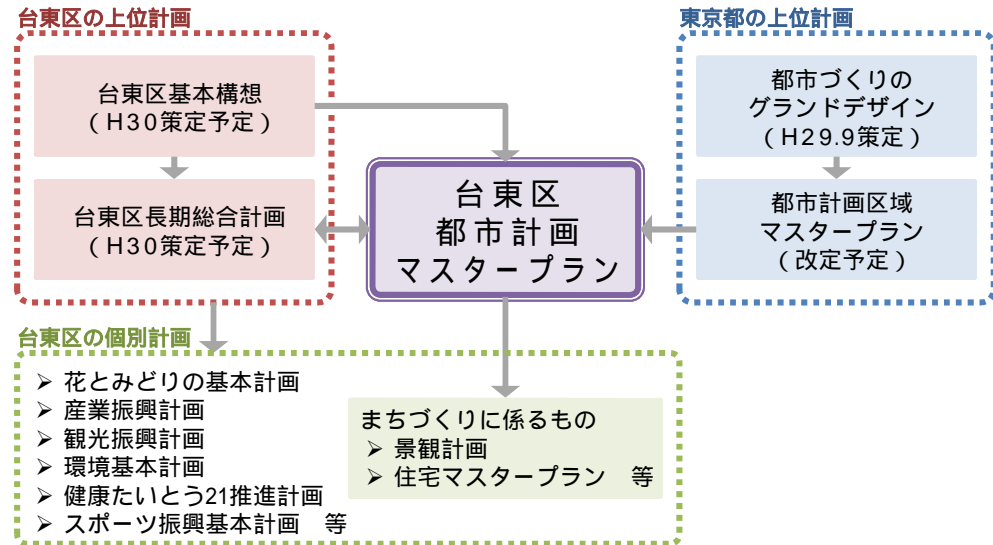
## 背景・役割

- 都市計画マスタープラン策定から10年以上が経過し、上位・関連計画の改定、土地利用状況の変化、国際化の進展など台東区を取り巻く社会状況も変わりつつある。
- また少子・高齢化や人口減少への対応、環境・エネルギー問題への取組み、暮らしの安全・安心の充実、多様な価値観・生活様式への対応も求められている。
- そこで様々な都市課題や社会・経済状況の変化に対応し、20年後の台東区のマチの将来像を示すため、新たな都市計画マスタープランを策定する。



## 位置付け

- 都市計画マスタープランは、区の基本構想及び東京都の都市計画区域マスタープランに即して定められる。(都市計画法第18条の2)



# 第2章 台東区の現状

## 都市としての魅力

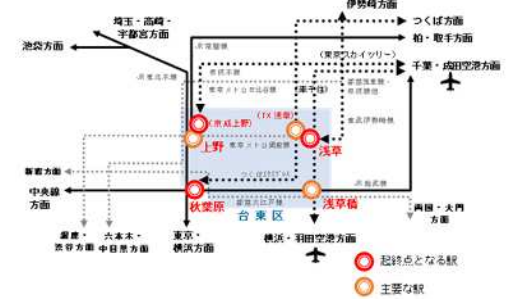
- 道路・鉄道等の都市基盤が高い整備水準にある
- 世界に誇る文化・芸術や産業、観光等の多くの資源を有する
- 都心に隣接し、公共交通網によるアクセス性が高い

都市計画道路の整備率

進捗状況	延長	割合
事業完了	33,239m	80.6%
事業中	1,170m	2.8%
未着手 (現道あり)	6,321m	15%
未着手 (現道なし)	504m	1%
合計	41,234m	100%

約6,300㎡(放射28号線交通広場)を含まない

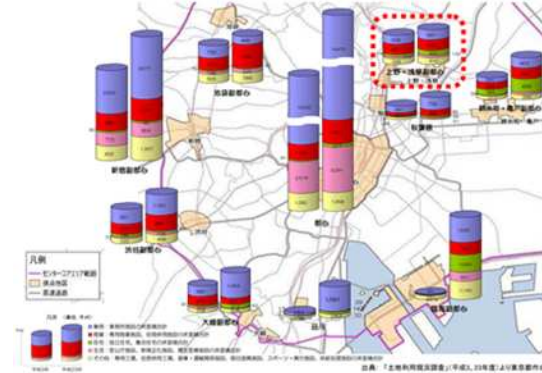
台東区の広域ネットワーク図



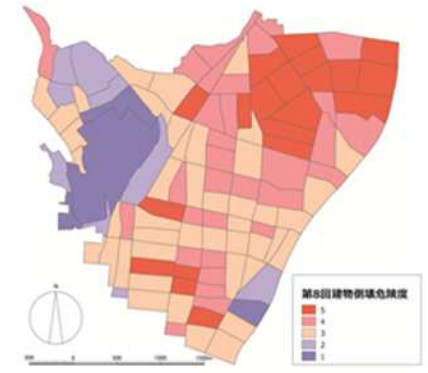
## まちづくりの課題

- 機能集積が見られず、拠点性の低下が懸念される
- より一層の防災性の向上の必要性がある
- 地区まちづくりの動きとの整合の必要性がある
- 土地の利用形態が変化・複雑化している(商業地への住宅建設の増加等)

都内の拠点ごとの機能集積の変化



建物倒壊危険度(第8回)



## 社会情勢・要請

- 首都直下地震への備え
- 少子高齢化への対応
- 都市の低炭素化への対応
- 民を活かした、柔軟性・スピード感のあるまちづくり、経済性・生活の質の向上に資するまちづくりを推進
- 健康まちづくりの推進

# 第3章 都市計画マスタープランの方向性

## 将来像・基本目標・将来イメージ

- 基本構想に掲げる将来像・基本目標を、都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定
- 基本目標からキーワードを抽出し、ひとの活動を意識したまちづくりの将来イメージを設定

### 台東区基本構想の将来像・基本目標を 都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定

【まちづくりのキーワード(案)】

ひとまちの  
魅力

ひとまちの  
活力

ひとまちの  
多様性

ひとまちの  
安全性

ひとまちの  
快適性

ひとまちの  
利便性

【まちづくりの将来イメージ(案)】

**ひとまちの魅力**

- ▶ 長い歴史に裏打ちされたまちの個性が活かされ、他の都市とは異なる唯一無二の魅力が、居住者、通勤・通学者、来街者、観光客などを惹きつけている。
- ▶ こころの豊かさへの志向に対応し、生涯学習、スポーツなど台東区の資源を活用した様々な活動の場や舞台が用意されて、誰もがいつまでも成長できるまちが形成されている。
- ▶ コンパクトな都市構造と充実した交通網を強みに、複合的な土地利用を活かした歩いて暮らせるまちが形成されている。

**ひとまちの活力**

- ▶ 上野、浅草をはじめとする区内の拠点において、特徴のある諸機能の集積により、居住者、通勤・通学者、来街者の増加と交流が活発化し、賑わいが絶えないまちとなっている。
- ▶ 若い人や起業家の新たな試みにチャレンジできる環境が既存の産業資源や人材を活かしたまちづくりによって実現され、都市の活力が維持、創出されている。
- ▶ 多様な人々が交流するコミュニティが形成され、人々の生活がいきいきと輝くまちとなっている。

**ひとまちの多様性**

- ▶ 地域の個性と融合した多様な住まいが誘導され、職住近接など様々な生活様式やワークスタイル、価値観が展開されている。
- ▶ 文化の良さを活かしつつ、時代に対応した新たなコミュニティも生まれ、子供、若者から高齢者まで多様な世代が交流し生活している。
- ▶ 国際観光都市として外国人にもやさしいまちづくりが進められるとともに、居住環境と観光の共存が図られている。

**ひとまちの安全性**

- ▶ 大地震や集中豪雨等の様々な自然災害に強い都市整備やまちづくりと一体的な対策が進み、ハード、ソフト共にまちの安全性が高まっている。
- ▶ 強固なコミュニティを強みに、「自助」「共助」「公助」が一体となった防災まちづくりが進み、だれもが安全に暮らし、滞在できるまちが形成されている。
- ▶ 地域特性に合致したまちづくりニーズを踏まえた歩行者空間が整備・確保され、歩行者にとって安全でバリアフリーのまちが形成されている。

**ひとまちの快適性**

- ▶ 上野公園や不忍池、隅田川などの自然と、身近な水・みどりが都市活動と融合した、うるおいのあるまちづくりが進んでいる。
- ▶ 台東区ならではのまちの成り立ちを継承し、歴史・文化資源や祭りなどの賑わい、地形、水・みどりがまちづくりに取り込まれた景観が形成されている。
- ▶ 地球環境、資源循環に配慮し、まちづくりにおいても低炭素化、ヒートアイランド現象の抑制、環境との共生が進められている。

**ひとまちの利便性**

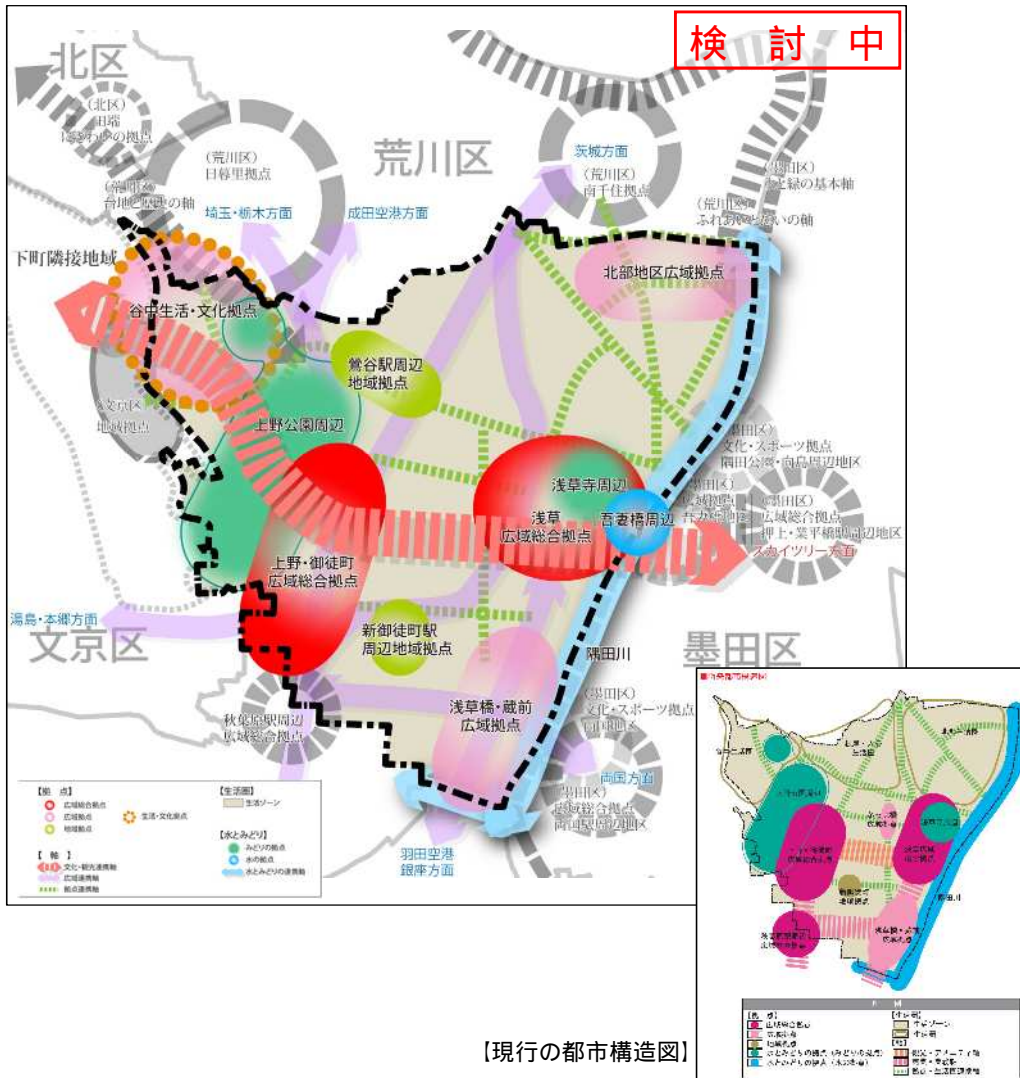
- ▶ 都心に隣接し、鉄道や空港アクセスなど広域交通の利便性に優れ、道路や公共交通網を活かし、諸機能の集積と相まって活力と魅力に富んだ利便性の高いまちとなっている。
- ▶ 上野、浅草など拠点的な交通ターミナルでは、乗換利便性向上や周辺のみちとのつながり強化などにより、まちの利便性がさらに高まっている。
- ▶ 地域のニーズに応じた機能が適切に配置されるとともに、誰もが利用可能な移動経路が確保され、行きたい場所があるまち、行きたい場所に行けるまちが形成されている。

# 将来都市構造・土地利用の方針

## - 1 将来都市構造

- 周辺区との連携を踏まえた拠点・軸を検討
- まちづくりの動向や課題を踏まえ、谷中地域、鶯谷駅周辺、北部地域への拠点の追加を検討
- 吾妻橋周辺に舟運や親水性を活かした水の拠点の位置付けを検討

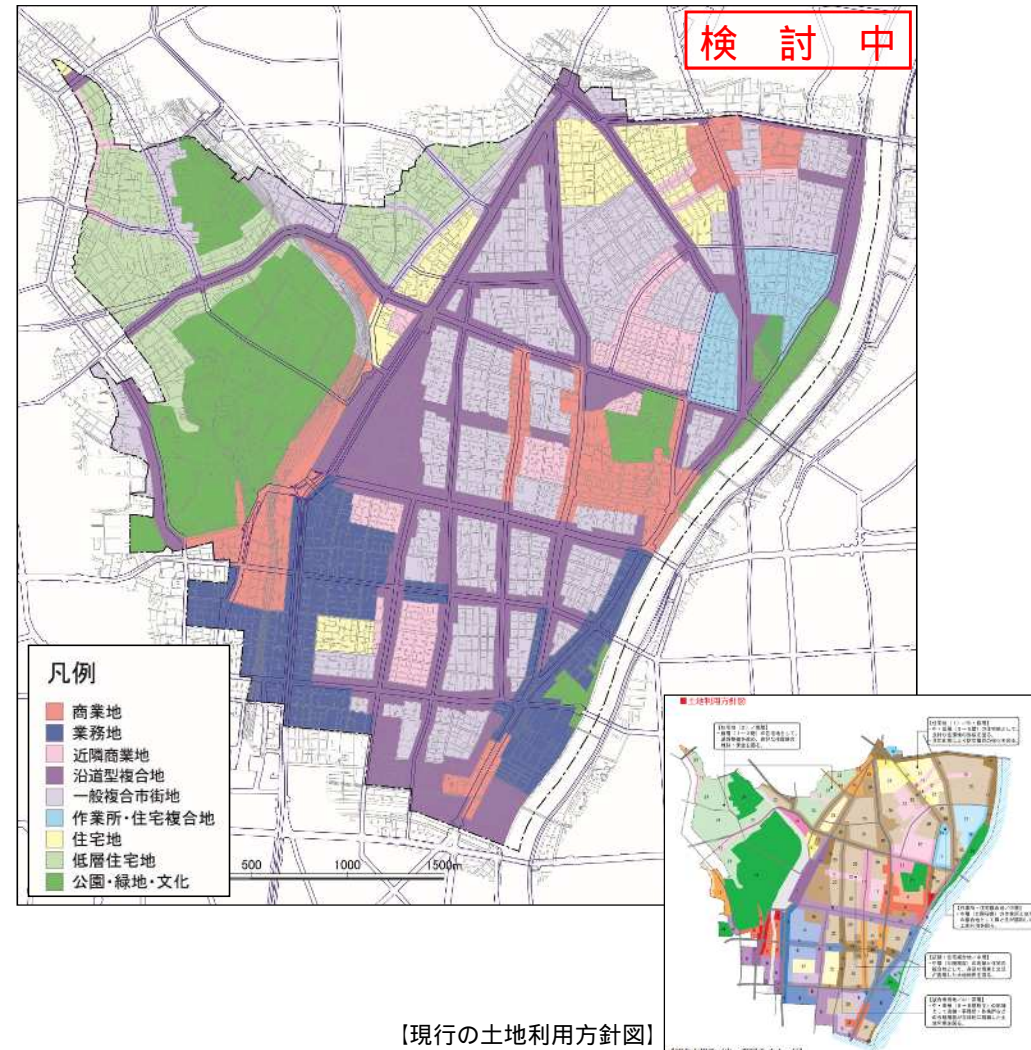
【将来都市構造図(案)】



## - 2 土地利用の方針

- 土地利用の方針については、将来都市像の根幹をなすものであることから、「第4章：分野別まちづくり方針」から「第3章：将来イメージ」へ記載場所を変更
- 土地利用に特化した方針図に変更

【土地利用方針図(案)】

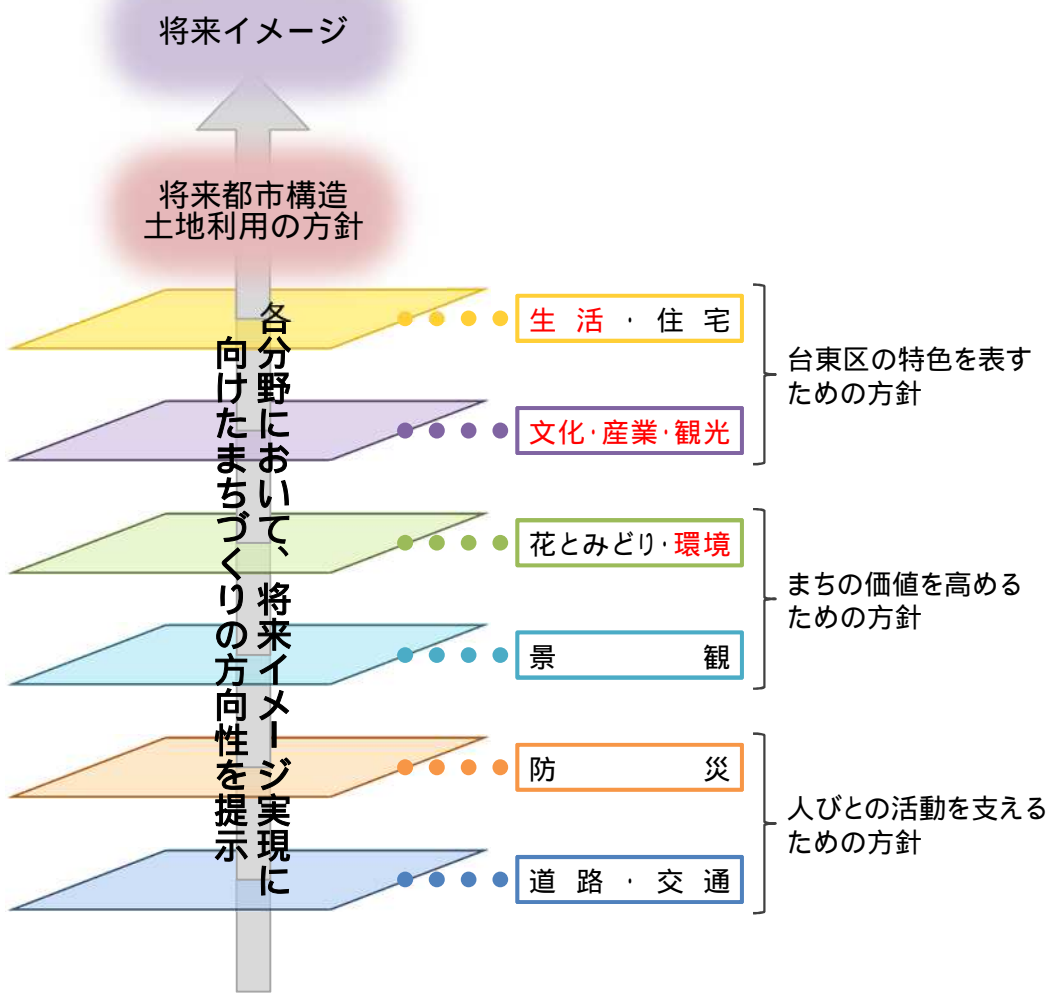


# 第4章 分野別まちづくり方針

## 基本的な考え方

- 「生活・住宅」「文化・産業・観光」「花とみどり・環境」「景観」「防災」「道路・交通」の6分野において、第3章で示す将来イメージの実現に向けたまちづくりの方向性を提示する。

土地利用の方針は、将来都市像の根幹をなすものであることから、「第3章：都市計画マスタープランの方向性」へ記載場所を変更  
 生活の質の向上に資するまちづくりを推進するため、「生活」の視点を追加  
 台東区の個性である文化・産業・観光と連携したまちづくりをより一層推進するため、「文化・産業・観光まちづくり方針」を追加  
 低炭素まちづくりを積極的に推進するため、「環境」の視点を追加



### 生活・住宅まちづくり方針

だれもがいきいきと  
暮らし続けられる  
まちづくり

#### 検討のポイント

- 生活・健康に係る施設等へのアクセス性向上
- 地域特性に応じた質の高い住宅・住環境の誘導
- 多様なライフスタイルへの対応

等

### 文化・産業・観光まちづくり方針

歴史・にぎわいを  
継承し、生み出す  
まちづくり

#### 検討のポイント

- 世界に誇る文化・産業・観光資源の活用・育成
- 来街者が快適に過ごせるおもてなし空間の形成
- 観光振興と居住の調和

等

### 花とみどり・環境まちづくり方針

花とみどり・水に  
囲まれた潤いを感じる  
まちづくり

#### 検討のポイント

- 地域の価値を高めるみどり・公園の創出
- 水辺の活用・まちと水辺のつながりの強化
- 都市の低炭素化への対応

等

### 景観まちづくり方針

個性豊かな街並みが  
人々を惹きつける  
まちづくり

#### 検討のポイント

- 文化資源や自然要素を活かした景観形成
- 拠点における風格ある景観形成
- 愛着・誇りを持てる景観形成

等

### 防災まちづくり方針

様々な災害から  
生活・文化を守る  
まちづくり

#### 検討のポイント

- まちのブランド力向上に資する災害対策
- 災害時のまちの継続性確保
- 復興まちづくりの検討

等

### 道路・交通まちづくり方針

多様な人々の  
活動を支える  
まちづくり

#### 検討のポイント

- ひと中心の道づくり
- 生活利便性の向上に資する交通の充実
- 新たな交通拠点の検討

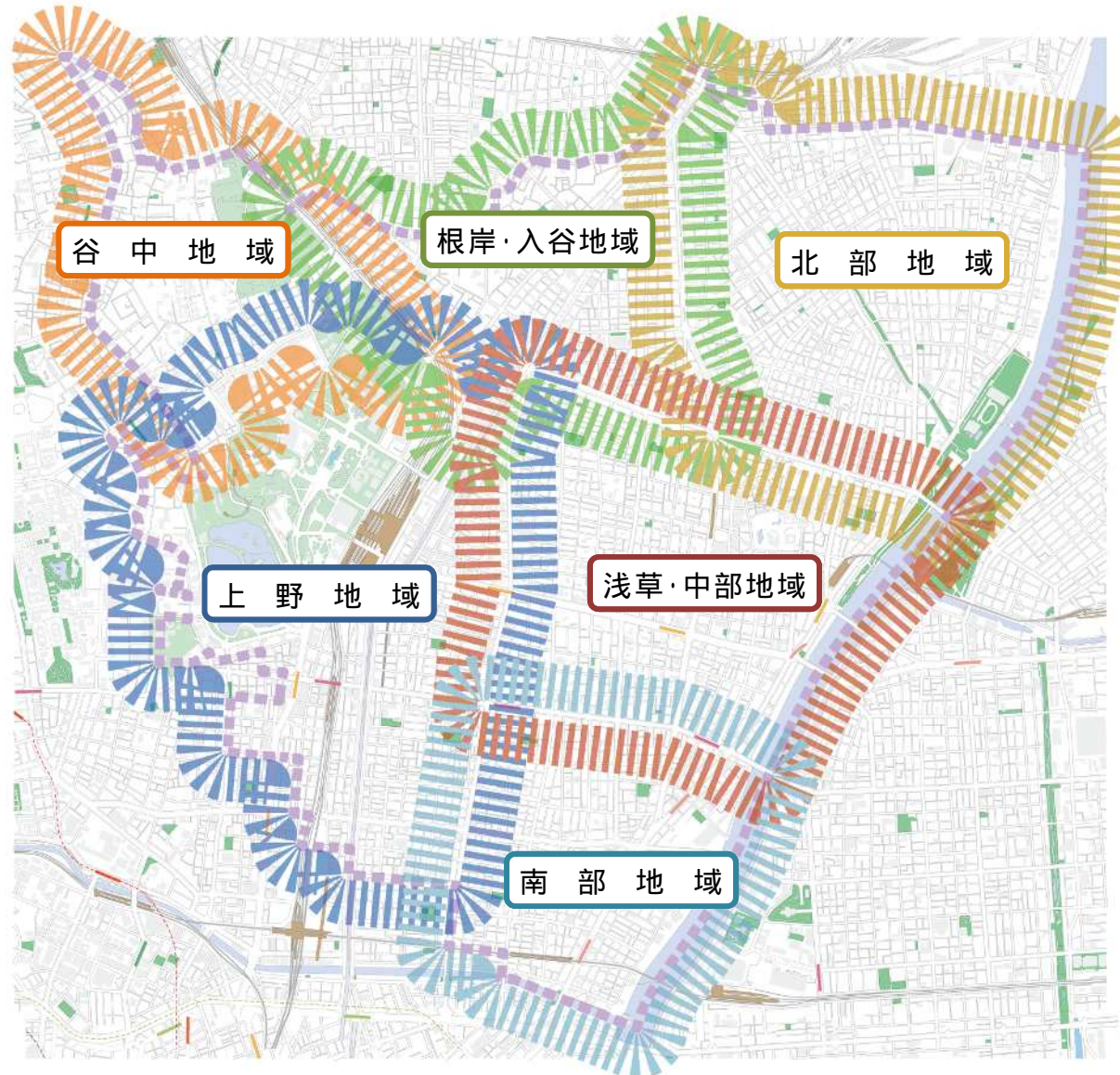
等

## 第5章 地域別まちづくり方針

### 基本的な考え方

- 基本的にはこれまでの地域区分を踏襲し、地域ごとのまちづくりの方針を検討
- 地域特性に応じた水辺のあり方や市街地との一体性を示すため、現行のマスタープランに位置付けられている「水の拠点」は削除の上、「浅草・中部地域」、「北部地域」、「南部地域」において記載

〔地域区分図〕



# 第6章 まちづくりの実現に向けて

## 協働によるまちづくりの推進

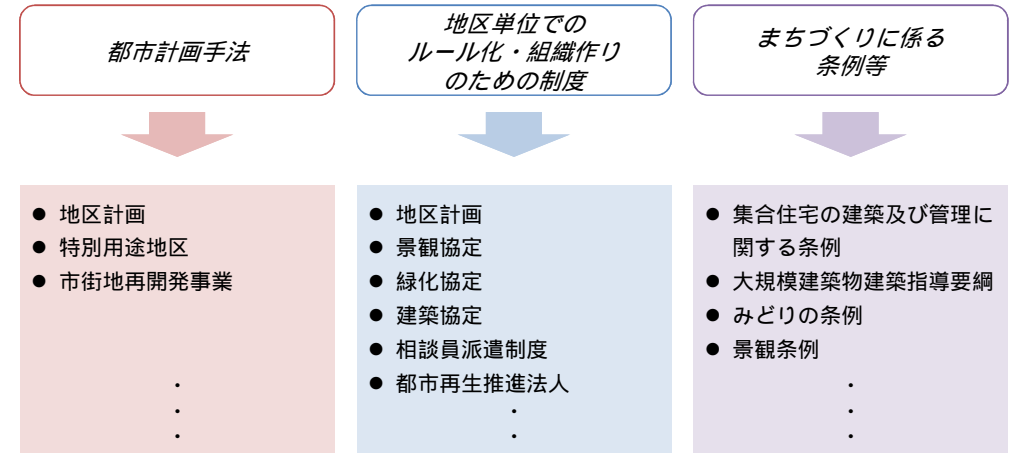
- 住民・地権者をはじめ、多様な主体のまちづくりへの参加を促し、多様化するニーズに対応したまちづくりを推進する。

[多様な主体のイメージ]



## まちづくりに係る制度の検討・活用

- 都市計画マスタープランに示す将来像実現に向けた都市計画手法や地区単位でのルール化・組織づくりのための制度の積極的な活用を図るとともに、まちづくりに係る条例等の構築・再編を検討する。



## 地区レベルでのまちづくり・マネジメントの推進

- 都市計画マスタープランに示す将来像を地元主体で深度化・実現化するとともに、長期的なエリアマネジメントの促進を図り、地元主体の持続的なまちづくりを推進する。



エリアマネジメントによるオープンカフェの実施例



エリアマネジメントによる賑わい創出・交流イベント開催の例